

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表集計結果（公表）

公表：2024年3月31日

事業所名 上田いずみ園

職員配布数 16人 答数16人(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウン等、個別対応が必要な時にスペースの工夫が必要。また面談や専門職等がある時は部屋が足りないと思うことがある。確認をしながら使用スペースを確保している。コーナー活用についても工夫するようにしている。 ・運動あそびをする時は手狭に感じることがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で協力しながら対応している。 ・個別の支援に対応するために、もっと手厚くなると良い。 ・活動により職員がほしい時がある。クラス間で声を掛け合っ て行く。人数でなく、お子さんの様子で配置を考えることもあ る。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	9	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外から内への出入りがスムーズになると良い。 ・意思疎通がしやすい環境設定を心がけている。 ・室内の目につく所に物が多い。収納の仕方を考えていく。 ・バギー等通りにくいとこがあり、バリアフリーになると便利だと思 う。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	3		<ul style="list-style-type: none"> ・物の置く場所などの工夫をしたい。 ・毎日、掃除を丁寧にしていると思う。 ・玩具の消毒時に破損にも気が付けるので続けたい。 ・ホールのエアコン設置により、夏場過ごせる場所が増えて良か った。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	12	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ話す努力はしているが、事後報告になってしまうこと もある。 ・話し合いの時間はなかなか取れないが書面も活用している。 伝達事項等が書面で回覧されるようになり周知しやすくなっ た。 ・常勤職員に任せてしまっている面が多い。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	4		<ul style="list-style-type: none"> ・園内行事についてや職員対応について等の保護者アンケート もやっている。ご意見のあった場合は、すぐに面談を設け、保護 者の方から直接話を伺い改善に努めるようにしている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	4		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	13	2	1	

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	2		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議時の勉強会は良い機会だと思う。 ・職員同士の学びの発表は気づきが多くてとても良い。 ・職員会議やクラス会議など、会議の回数が増えたと良い。 <p>時間の使い方の工夫をし、短時間でもクラス間で確認できる機会を作る。</p>
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	16			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談やクラス内検討会議を行い計画書を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	2		発達検査や専門職の見解も計画書に取り入れている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	14	2		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	16			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の家庭状況に合わせて対応していくことにこれでよいのか悩むこともある。職員同士声をかけ合いながら行うようにしている。 ・クラス会議でも対応について見直しをするようにしている。 ・具体的なことについてもっと共有したほうが良いとも思える。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	5		<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合うようにしているが、リーダー職員が形にしてくれることも多い。チームで作っていくことに協力したい。 ・話し合いの時間が少ないと思う。もっと参加していきたい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	4		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの好きなことを取り入れるようにしている。 ・日々のリーダーを固定しないようにしている。 ・継続して行う方が良いこともある。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	2		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に確認、遅出職員はその都度クラスリーダーから伝え共有する工夫をいっている。 ・確認できる時とできないときがある。 ・出勤したときに伝えてもらっている。個々にしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、話すよう心がけている。 ・出勤時間がそれぞれ違うこともあり、伝え合うようにしている。 ・回覧で共有している
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	2		<ul style="list-style-type: none"> ・記録を読むだけになってしまうことがある。 ・短時間でも打ち合わせする工夫がもっと必要。 ・記録の仕方も検討必要。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	16			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	2	
	㉒	母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	13	3	・担当の保健師さんに様子を見に来てもらっている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行っているか。	15	1	・定期的に支援会議を行い、医療の状況や看護処置について確認し、関係機関と連携を取るようになっている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	14	2	・必要に応じて受診同行を行い、直接主治医からも指示を頂くこともある。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	2	・移行先の見学や体験を通し、情報共有や今後の支援について移行支援会議等を行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	2	・就学準備として学校体験を何度か行わせて頂き、学校側からも園内の療育を見に来て頂くなど、やり取りを多く持ち状況を共有するよう努めている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害もの支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	10	6	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	15	1	・回数は多くないが同法人保育園と交流をしている。深められた。定期的に続けていけるとよい。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	7	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	2	・登園、降園、連絡帳にて伝えている。 ・家庭でもできることを一緒に行っていききたい。
保護者への説明責任等	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	4	・専門職相談を行っている。 ・保護者の方に参加してもらうのが難しい場合がある。
	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	2	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	2	
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	16		・家族の悩みなど、専門職も加わり相談等で対応することができた。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13	3	・少しずつコロナ禍の前の状況に戻つつある。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	16			・事業所内に相談員もいるので、モニタリング時に保護者の方からの相談と一緒に伺うこともできる。スムーズな対応が取れるよう連携を図っている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1		
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	16			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	1		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	11		・感染対策の関係からも難しかった。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	1		・様々な場面を想定して、全職員が周知して動ける訓練を行って行きたい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16			・第2次避難や、引き渡し訓練等も充実させたい。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか。	15	1		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	16			・食具を別にするなど、間違えを減らす工夫をしている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	16			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	13	3		